令和3年第6回中間市議会定例会会期日程（案）

（会 期 8月31日～9月24日：25日間）

月 日	曜	本 会 議	委員会	審 査 事 項
8月31日	火	開 議 午前10時		1. 会期の決定 2. 議会運営委員の補欠選任 3. 同意案第2号・同意案第3号 4. 諮問第1号～諮問第4号 5. 承認第12号 6. 認定第1号～認定第10号 7. 第37号議案～第51号議案 「 議案上程・提案理由説明・質疑 」 「 討論・採決 」
9月 1日	水	休 会		
9月 2日	木	開 議 午前10時		1. 一般質問 2. 承認第12号 3. 認定第1号～認定第10号 4. 第37号議案～第51号議案 [質疑・討論・採決・委員会付託]
9月 3日	金	休 会		
9月 4日	土	休 会		
9月 5日	日	休 会		
9月 6日	月	休 会	委員会	
9月 7日	火	休 会	委員会	
9月 8日	水	休 会	委員会	
9月 9日	木	休 会	委員会	
9月10日	金	休 会	委員会	
9月11日	土	休 会		
9月12日	日	休 会		
9月13日	月	休 会	委員会	
9月14日	火	休 会	委員会	
9月15日	水	休 会	委員会	
9月16日	木	開 議 午前10時	委員会	1. 第52号議案 「 議案上程・提案理由説明・質疑 」 「 委員会付託 」
9月17日	金	休 会		
9月18日	土	休 会		
9月19日	日	休 会		
9月20日	月	休 会		
9月21日	火	休 会		
9月22日	水	休 会		
9月23日	木	休 会		

9月24日	金	開 議 午前10時	1. 認定第1号～認定第10号 2. 第37号議案～第52号議案 3. 議員提出議案第5号 4. 意見書案第7号～意見書案第11号 「 議案上程・提案理由説明 」 「 委員長報告・質疑・討論・採決 」
-------	---	--------------	---

諸 般 の 報 告

第6回中間市議会定例会

令和3年8月31日

(報告書の受領)

1. 中間市債権管理条例第20条及び中間市債権管理条例施行規則第12条の規定により、放棄した私債権の報告書を、令和3年8月16日付で市長から下記のとおり受領した。

記

放棄した債権の名称	件 数	金 額
住宅新築資金等貸付金	9件	15,898,754円
水道料金	1,469件	2,455,031円
公営住宅使用料	30件	384,000円
市有地土地建物貸付料	42件	720,198円

2. 地方自治法第180条第2項の規定により、専決処分報告書を、令和3年8月18日付で市長から下記のとおり受領した。

記

(1) 損害賠償の額を定め、和解することについて

- ・相手方 北九州市在住 女性
- ・事故の概要 事故発生日時 令和3年7月19日(月)午前9時35分頃
事故の発生場所 中間市中間一丁目1番1号中間市役所本館駐車場出入口付近
事故の状況 市職員運転中の公用車が中間市役所本館駐車場から交差点方向へ右折して出ようとした際に、右側からトラックが来ているのを当該職員が視認したため、進行方向の確認が不十分なまま急いで出ようとしたことから、右折レーンにいた相手方車両の右側面後方に衝突した。これにより、相手方車両については右側面後方に凹みと傷が生じ、公用車については前方左側のライト及びバンパー周辺が破損した。

- ・損害賠償の額 516,000円

3. 地方自治法第243条の3第2項の規定により、公益財団法人中間市文化振興財団の経営状況を説明する書類を、令和3年8月24日付で市長から下記のとおり受領した。

記

(1) 令和2年度決算書

(地方自治法第244条の2第7項に基づく事業報告書を兼ねる。)

(2) 令和3年度事業計画書

(3) 令和3年度予算書

4. 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、令和2年度中間市健全化判断比率及び資金不足比率審査意見書を、令和3年8月24日付で、市長から受領した。

議事日程(第1号)

令和3年8月31日 午前10時00分開会

- 日程第 1 会期の決定
- 日程第 2 議会運営委員の補欠選任
- 日程第 3 同意案第2号 監査委員の選任について
(日程第3 提案理由説明・質疑・討論・採決)
- 日程第 4 同意案第3号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
(日程第4 提案理由説明・質疑・討論・採決)
- 日程第 5 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 6 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 7 諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 8 諮問第4号 人権擁護委員候補者の推薦について
(日程第5～日程第8 提案理由説明・質疑・討論・採決)
- 日程第 9 承認第12号 専決処分を報告し、承認を求めることについて
(損害賠償の額を定め、和解することについて)
(日程第9 提案理由説明)
- 日程第10 認定第1号 令和2年度中間市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第11 認定第2号 令和2年度中間市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算認定について
- 日程第12 認定第3号 令和2年度中間市住宅新築資金等特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第13 認定第4号 令和2年度中間市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第14 認定第5号 令和2年度中間市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第15 認定第6号 令和2年度中間市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第16 認定第7号 令和2年度中間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第17 認定第8号 令和2年度中間市公共下水道事業会計利益の処分及び決算

認定について

- 日程第18 認定第9号 令和2年度中間市水道事業会計利益の処分及び決算認定について
- 日程第19 認定第10号 令和2年度中間市病院事業会計決算認定について
(日程第10～日程第19 提案理由説明)
- 日程第20 第37号議案 令和3年度中間市一般会計補正予算(第5号)
- 日程第21 第38号議案 令和3年度中間市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
(日程第20～日程第21 提案理由説明)
- 日程第22 第39号議案 中間市手数料条例の一部を改正する条例
(日程第22 提案理由説明)
- 日程第23 第40号議案 中間市地域振興整備基金条例を廃止する条例
- 日程第24 第41号議案 子孫にのこすふるさとづくり基金条例を廃止する条例
- 日程第25 第42号議案 中間市福祉対策積立基金条例を廃止する条例
- 日程第26 第43号議案 中間市ふるさと水と土保全基金条例を廃止する条例
- 日程第27 第44号議案 中間市住宅基金条例を廃止する条例
- 日程第28 第45号議案 中間市都市計画事業等積立基金条例を廃止する条例
- 日程第29 第46号議案 中間市消防施設整備積立基金条例を廃止する条例
- 日程第30 第47号議案 中間市まなびの森基金条例を廃止する条例
- 日程第31 第48号議案 中間市基金の運用の特例に関する条例を廃止する条例
(日程第23～日程第31 提案理由説明)
- 日程第32 第49号議案 中間市公共施設整備等基金条例
(日程第32 提案理由説明)
- 日程第33 第50号議案 中鶴公営住宅(1期)新築工事(建築工事)請負契約について
(日程第33 提案理由説明)
- 日程第34 第51号議案 損害賠償の額を定め、和解することについて
(日程第34 提案理由説明)
- 日程第35 会議録署名議員の指名

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員(16名)

1番 小林 信一君	2番 堀田 克也君
3番 田口 善大君	4番 蛙田 忠行君

5 番	柴田 芳信君	6 番	田口 澄雄君
7 番	山本 慎悟君	8 番	安田 明美君
9 番	掛田るみ子君	10 番	中尾 淳子君
11 番	阿部伊知雄君	12 番	大和 永治君
13 番	柴田 広辞君	14 番	下川 俊秀君
15 番	井上 太一君	16 番	中野 勝寛君

欠席議員（0名）

欠 員（0名）

説明のため出席した者の職氏名

市長	……………	福田 浩君	副市長	……………	白尾 啓介君
教育長	……………	片平 慎一君	総務部長	……………	末廣 勝彦君
市民部長	……………	安徳 保君	保健福祉部長	……………	藤田 宜久君
教育部長	……………	船津喜久男君	建設産業部長	……………	篠田 耕一君
環境上下水道部長	……………				村上 智裕君
消防長	……………	林 誠志君	総務課長	……………	後藤 謙治君
財政課長	……………	蔵元 洋一君	建設課長	……………	原口 憲一君
人権男女共同参画課長	……………				大庭 省二君

事務局出席職員職氏名

事務局長	佐伯 道雄君	書 記	志垣 憲一君
書 記	東 隆浩君	書 記	本田 裕貴君

午前10時00分開会

○議長（中野 勝寛君）

おはようございます。ただいまの出席議員は16名で、定足数に達しております。これより令和3年第6回中間市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付しておりますので、ご了承をお願いいたします。

この際、日程に入ります前に、諸般の報告を行います。

報告事項は、お手元に配付しております。朗読は省略したいと思いますのでご了承をお願いいたします。

また、今定例会におきましては、新型コロナウイルス感染防止のため、議員の議席及び執行部席の間隔を空けておりますので、ご了承をお願いいたします。

日程第1. 会期の決定

○議長（中野 勝寛君）

これより日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、お手元の会期日程表のとおり、本日から9月24日までの25日間といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認めます。よって、今期定例会の会期は25日間と決しました。

日程第2. 議会運営委員の補欠選任

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第2、議会運営委員の補欠選任を議題といたします。

議会運営委員の補欠選任については、委員会条例第7条第1項の規定により、田口善大君を指名いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました田口善大君を議会運営委員に選任することに決しました。

日程第3. 同意案第2号

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第3、同意案第2号監査委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

皆様、おはようございます。それでは、同意案第2号監査委員の選任について提案理由を申し上げます。

本市の議員選出の監査委員であります安田明美氏の任期が、本年7月13日で満了となりましたことから、次期監査委員といたしまして、議員のうちから引き続き同氏を選任いたしたく、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

なお、委員の任期につきましては、同法第197条の規定により、選任の日から議員の任期であります令和7年7月13日まででございます。

ご同意のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております同意案第2号は、委員会の付託を省略したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認め、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

討論なしと認めます。

これより同意案第2号監査委員の選任についてを採決いたします。

この採決は、無記名投票をもって行います。

議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

○議長（中野 勝寛君）

ただいまの出席議員は14人であります。

投票用紙を配付させます。

（投票用紙配付）

○議長（中野 勝寛君）

投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

(投票箱点検)

○議長(中野 勝寛君)

異状なしと認めます。

念のため申し上げます。本案について同意することに賛成の諸君は賛成と、また反対の諸君は反対と記載の上、点呼に応じて順次投票を願います。

なお、重ねて申し上げます。投票中、賛否を表明しない投票及び賛否が明らかでない投票は、会議規則第70条第2項の規定により否とみなします。

また、井上太一君から身体の故障のため投票することが困難であることを理由に代理投票の申出がありましたので、代理投票を認めることにいたします。

投票補助者に、事務局職員東隆浩君及び本田裕貴君を指名いたします。

点呼を命じます。

(事務局長点呼・議員投票)

.....

1 番	小林 信一議員	2 番	堀田 克也議員
3 番	田口 善大議員	4 番	蛙田 忠行議員
5 番	柴田 芳信議員	6 番	田口 澄雄議員
7 番	山本 慎悟議員	9 番	掛田るみ子議員
10 番	中尾 淳子議員	11 番	阿部伊知雄議員
12 番	大和 永治議員	13 番	柴田 広辞議員
14 番	下川 俊秀議員	15 番	井上 太一議員

.....

○議長(中野 勝寛君)

投票漏れはありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(中野 勝寛君)

投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

○議長(中野 勝寛君)

開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に堀田克也君及び阿部伊知雄君を指名いたします。よって、両君の立ち合いを願います。

(開票)

○議長（中野 勝寛君）

投票の結果を報告いたします。投票総数14票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。そのうち賛成12票、反対2票。

以上のとおり賛成多数であります。よって、同意案第2号については、これに同意することに決しました。

日程第4. 同意案第3号

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第4、同意案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

同意案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任について、提案理由を申し上げます。

本市の固定資産評価審査委員会委員であります日高幸夫氏の任期が、本年9月21日で満了となりますことから、固定資産の評価について、学識経験を有する同氏を引き続き同委員に選任いたしたく、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるところでございます。

ご同意のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております同意案第3号は、委員会の付託を省略したいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認め、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

討論なしと認めます。

これより同意案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております同意案第3号については、これに同意することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(中野 勝寛君)

ご異議なしと認めます。よって、同意案第3号については、これに同意することに決しました。

日程第5. 諮問第1号

日程第6. 諮問第2号

日程第7. 諮問第3号

日程第8. 諮問第4号

○議長(中野 勝寛君)

次に、日程第5、諮問第1号から日程第8、諮問第4号までの諮問4件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福岡市長。

○市長(福田 浩君)

諮問第1号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を申し上げます。

現在、本市の人権擁護委員であります上田献治氏の任期が、本年12月31日で満了となります。同氏におかれましては、3年にわたってご活躍頂きましたが、任期満了に伴い退任されることになりました。同氏の永年にわたるご尽力につきましては、深く感謝いたしているところでございます。

つきましては、法務大臣から福岡法務局長を通じ、後任候補者の推薦依頼がございましたので、後任といたしまして、社会的信望も厚く、基本的人権の擁護という重要な仕事に強い関心と熱意を持っておられる高橋洋氏を候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

次に、諮問第2号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を申し上げます。

現在、本市の人権擁護委員であります乙藤和典氏の任期が、本年12月31日で満了となります。

つきましては、法務大臣から福岡法務局長を通じ、後任候補者の推薦依頼がございましたので、これまで基本的人権の擁護という広範かつ重要な仕事に熱意を持って取り組んでこられました同氏を引き続き候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

次に、諮問第3号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を申し上げます。

現在、本市の人権擁護委員であります中垣美子氏の任期が、本年12月31日で満了となります。

つきましては、法務大臣から福岡法務局長を通じ、後任候補者の推薦依頼がございましたので、これまで基本的人権の擁護という広範かつ重要な仕事に熱意を持って取り組んで

こられました同氏を引き続き候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

次に、諮問第4号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を申し上げます。

現在、本市の人権擁護委員であります三角由紀子氏の任期が、本年12月31日で満了となります。

つきましては、法務大臣から福岡法務局長を通じ、後任候補者の推薦依頼がございましたので、これまで基本的人権の擁護という広範かつ重要な仕事に熱意を持って取り組んでこられました同氏を引き続き候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております諮問4件は委員会の付託を省略したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認め、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

討論なしと認めます。

これより諮問4件を順次採決いたします。

議題のうち、まず諮問第1号人権擁護委員候補者の推薦についてを採決いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております諮問第1号については、候補者を適任と認めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認めます。よって、諮問第1号は適任と認めることに決定いたしました。

次に、諮問第2号人権擁護委員候補者の推薦についてを採決いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております諮問第2号については、候補者を適任と認めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認めます。よって、諮問第2号は適任と認めることに決定いたしました。
次に、諮問第3号人権擁護委員候補者の推薦についてを採決いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております諮問第3号については、候補者を適任と認めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認めます。よって、諮問第3号は適任と認めることに決定いたしました。
次に、諮問第4号人権擁護委員候補者の推薦についてを採決いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております諮問第4号については、候補者を適任と認めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（中野 勝寛君）

ご異議なしと認めます。よって、諮問第4号は適任と認めることに決定いたしました。

日程第9. 承認第12号

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第9、承認第12号専決処分を報告し、承認を求めることについて（損害賠償の額を定め、和解することについて）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

承認第12号損害賠償の額を定め、和解することにつきましては、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分といたしましたのでご報告申し上げます。

今月2日午前11時ごろ、市有地ののり面に生育している大木が、その一部が腐っていたため折れて、相手方家屋の外構のフェンスに損傷を与えました。本件につきましては早急に示談をし、相手方に対して損害を賠償する必要がありましたことから、相手方と今月10日付けで損害賠償の額を3万5,200円とし、和解することにつきまして専決処分といたしました。

つきましては、地方自治法第179条第3項の規定により、議会に報告し、承認を求めるものでございます。

ご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております承認第12号に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますのでご了承をお願いいたします。

日程第10. 認定第 1号

日程第11. 認定第 2号

日程第12. 認定第 3号

日程第13. 認定第 4号

日程第14. 認定第 5号

日程第15. 認定第 6号

日程第16. 認定第 7号

日程第17. 認定第 8号

日程第18. 認定第 9号

日程第19. 認定第10号

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第10、認定第1号から日程第19、認定第10号までの令和2年度各会計決算認定10件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

認定第1号から認定第7号までにつきましては、各会計別一括して提案理由を申し上げます。

まず、一般会計につきましては、歳入及び歳出の差引額は10億6,640万円の黒字決算となっております。

一般会計の歳入の主なものといたしましては、市税収入が41億5,200万円となり、前年度と比較しますと9,970万円の増額となっております。市税収入増額の要因といたしましては、法人市民税が税率引下げと新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化により減額となったものの、償却資産の課税額増加により固定資産税が大きく増額となり、市民税の減少額を上回ったことによるものでございます。

また、市税徴収率につきましては、適正な債権管理及び徴収強化に継続して取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による徴収猶予を行ったことから、前年度の97.0%から96.9%に微減しております。

歳入におけるもう一方の柱でございます地方交付税につきましては、普通交付税と特別交付税を合わせますと51億8,790万円となり、前年度と比較しますと6,440万円の減額となっております。また、地方交付税を補完いたします臨時財政対策債につきましても、前年度より1,300万円の減額となる3億7,980万円となっております。

地方交付税の減額の要因といたしましては、社会保障関連経費を中心に基準財政需要額が増額となった以上に、先ほどご説明いたしました固定資産税の増収及び税率引上げに伴う地方消費税交付金の増収により、基準財政収入額が増額となったことによるものでございます。

また、臨時財政対策債の減額の要因といたしましては、国の地方財政計画において、地方全体の発行額が減額となったことによるものでございます。

次に、歳出の主なものといたしまして、まず、義務的経費につきましてご説明を申し上げます。

人件費におきましては、会計年度任用職員制度の開始等により、前年度と比較しまして1,770万円増額いたしております。

扶助費におきましては、子育て世帯及びひとり親世帯臨時特別給付金給付費の増額等により前年度と比較しまして2,810万円の増額の55億1,580万円となっております。

公債費におきましては、令和元年度に実施した借換債の効果が通年に及んだことから、前年度の借換債発行による影響を除外した額と比較しますと5億7,790万円減額となる10億5,790万円となっております。

次に、主な事業についてご説明を申し上げます。

総務費におきましては、ふるさと納税制度による寄附が好調であったことから、ふるさと納税管理委託料は3億1,030万円増額の6億4,220万円となり、寄附金収入は12億6,290万円と6億4,250万円の増額となっております。

今後とも創意工夫による自主財源確保に努めてまいります。

また、国の緊急経済対策である家計支援のための特別定額給付金を対象者1人につき10万円、総額41億2,100万円を支給いたしました。

民生費におきましては、児童手当支給対象児童1人当たり、国による額1万円に市独自で5,000円を上乗せし、合計1万5,000円を支給する子育て世帯臨時特別給付金として総額6,980万円を、児童扶養手当を受給するひとり親世帯等に5万円を支給するなどのひとり親世帯臨時特別給付金として、1億700万円を支給いたしました。

衛生費におきましては、新型コロナウイルス感染症対策事業として、サーモグラフィ等による検温や除菌消毒といった感染拡大防止に必要な体制の整備、感染した場合に重症化しやすい高齢者等に対するPCR検査費用の助成及び感染流行下における季節性インフルエンザとの同時流行を予防するための高齢者、子ども及び妊婦に対するインフルエンザ予防接種費用の助成を実施いたしました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施できるよう体制を整備し、市民の皆様の健康を守り、安心した生活を送っていただくための施策を展開いたしました。

労働費におきましては、緊急雇用対策として、県と足並みをそろえ、新型コロナウイルス感染症の影響で離職を余儀なくされた労働者や就業機会が減少した個人事業主等に対して短期の雇用を提供いたしました。

農林水産業費におきましては、老朽化の進んだ中底井野地区の農業用水路改良工事を実施し、農業環境の整備を行いました。

商工費におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済を活性化す

るため、30%のプレミアム付き商品券及びプレミアム率20%の中間エール飯クーポン券を販売いたしました。

また、売上げが減少したり、県の休業要請を受けて休業等を行ったりした市内事業者に対して、中間市新型コロナウイルス感染拡大防止休業等協力施設支援協力金など4種類の給付金等の支給を行い、事業の継続を支援いたしました。

土木費のうち道路新設改良費につきましては、通学路整備工事やのり面補修工事など合計8件の工事を行っております。

住宅施策につきましては、中鶴地区建替事業として9億6,480万円の工事費を支出し、中鶴地区の住環境整備を推進いたしております。

消防費におきましては、消防資機材搬送車を購入し、防災関連設備の充実を図りました。また、新型コロナウイルス感染防止のための設備や資機材を整備することで、コロナ禍においても安定的に消防及び救急活動を提供できる体制の構築を推進いたしました。

教育費におきましては、教育ICTを推進するため、令和元年度から繰り越して実施する予定としておりましたGIGAスクール構想整備事業につきまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、計画を前倒しし、令和2年度予算と併せて執行することで、全ての小中学校に校内通信ネットワークを構築するとともに、1人1台のタブレット端末等を配備いたしました。

また、校内での新型コロナウイルスへの感染を防止するため、保健衛生用品や定期的な消毒体制等を整備することで、新しい生活様式においても、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境の整備を図りました。

以上が一般会計の決算の概要でございます。

引き続き特別会計につきましてご報告いたします。

まず、特別会計国民健康保険事業におきましては、歳入総額は48億5,270万円、また歳出総額は56億2,550万円となり、差引き7億7,270万円の不足が生じました。この中から、前年度繰上充用金9億1,070万円を除く単年度決算につきましては1億3,800万円の黒字決算となっております。

この要因といたしましては、療養費に充当する普通交付金の概算交付額が過大交付となったことなどによるものであり、この過大交付分は令和3年度に精算予定であることから、国保財政の根本的な改善には至っておりません。

また、国民健康保険税につきましては、令和2年度に税率の増額改定を実施しておりますが、被保険者数の減少、新型コロナウイルス感染症に係る減免措置等の影響により、前年度と比較して490万円の微増となっております。

なお、収納率に関しましては、前年度から2.72ポイントの上昇となる86.30%となっております。

次に、国民健康保険の概況でございますが、令和2年度の各月平均の加入者数は1万

135人でございまして、前年度に比べ253人減少しております。

また、1人当たりの年間療養諸費は、前年度に比べ5,951円減少し、32万4,175円となっております。

令和3年度の国保財政につきましては、福岡県に納付する国民健康保険事業費納付金は、医療費の減少に伴い減額となっておりますが、令和2年度普通交付金の精算による歳出増、新型コロナウイルス感染症に係る保険税減免に対する国からの財政措置の縮小に伴う歳入減等により厳しい状況となることが想定されることから、今後につきましても、引き続き国民健康保険税率の適正化、各種補助金等の活用による財源確保及び保健事業への積極的な取組による医療費の適正化に努め、福岡県と連携し、国民健康保険財政の健全化を図ってまいり所存でございます。

次に、住宅新築資金等特別会計におきましては、歳入総額は貸付金元利収入等140万円に対し、歳出総額は繰上充用金等3億3,490万円で差引き3億3,340万円の収入不足となりました。

この不足額につきましては、福岡県住宅新築資金等貸付金助成推進事業の活用及び貸付金の徴収努力を今後とも継続することによりその解消を図ってまいりたいと考えております。

次に、地域下水道事業特別会計につきましては、歳入歳出の差引額は130万円の黒字となっており、その主なものといたしましては、中鶴地区、曙地区の下水処理場等を維持管理する経費でございます。

次に、公共用地先行取得特別会計につきましては、平成27年度をもって地方債の償還が完了し、新たな用地の取得もないことから、収入支出とも生じておりません。

次に、介護保険事業特別会計保険事業勘定におきましては、歳入52億4,770万円、歳出49億6,590万円となり、歳入歳出差引き2億8,180万円の黒字決算となっております。保険給付費は44億710万円で前年度に比べ5,770万円、率にして1.3%増加しております。

増加の要因といたしましては、認定者数全体は、令和3年3月末現在において3,416人で、前年度に比べ0.4%減少したものの高齢化の進展により介護度が重い認定者の比重が高まったことで、各種介護サービス利用の増加につながったものと考えられます。

次に、介護サービス事業勘定では、歳入4,840万円、歳出3,180万円となり、歳入歳出差引き1,660万円の黒字決算となっております。

なお、要支援者の年間給付管理件数は7,748件で、前年度に比べて2.2%増加しております。

次に、後期高齢者医療特別会計につきましては、歳入総額8億3,640万円、歳出総額8億2,150万円、差引額1,490万円の黒字決算となっております。

歳入の主なものといたしましては、被保険者からの保険料でございます。また、歳出の

主なものといたしましては、福岡県後期高齢者医療広域連合への納付金でございます。

1,490万円の黒字決算となっておりますが、このうち1,390万円は市町村の会計において出納整理期間中であり、4月及び5月に納付されました被保険者からの保険料でございます。本年度、福岡県後期高齢者医療広域連合に支出するものでございます。

今後も福岡県後期高齢者医療広域連合との連携を密にし、安心、信頼の医療の確保及び医療費の適正化並びに保険料の収納率向上を図り、なお一層の効率的運営に努力してまいります。

一般及び特別それぞれの会計における決算概要は以上でございます。

最後に、令和2年度普通会計決算における財政状況でございますが、実質収支は7億2,470万円の黒字、単年度収支は3億2,640万円の黒字となっております。また、基金残高は前年度から13億5,390万円増額の24億350万円となり、6年ぶりの増額となっております。

一方、地方債残高は前年度から5,170万円減額となる111億1,330万円となっております。これで平成17年度から16年連続して地方債残高の減額を達成し、ピーク時の約196億円から85億円もの減額となりました。

また、地方財政健全化法に基づく各指標につきましても、実質公債費比率は前年度から4.0ポイント改善の9.3%、将来負担比率は前年度から9.5ポイント改善の45.0%でした。

また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率につきましても、前年度から9.1ポイント改善の86.2%となりました。いずれも依然として楽観視できる数値ではありませんが、財政構造改善に向けた取組の成果が着実に現れ始めています。

しかしながら、人口減少への対応策、加速する少子高齢化に伴う施策の充実、学校教育環境整備や公共下水道事業推進等の市民ニーズの高い行政サービス、想定を上回る伸びを示す社会保障費及び公共施設の再編整備に必要となる財源の確保、国民健康保険事業における累積赤字解消といった諸問題も山積しております。

今後とも行政の効率化により経費の抑制に努め、持続可能な行財政基盤を確立し、地域活性化の取組をさらに推進し、地方創生の実現を図ってまいります。

以上、地方自治法第233条第3項の規定によりまして、監査委員の意見書をつけて議会の認定に付するものでございます。

なお、地方自治法233条第5項及び第241条第5項の規定による説明書類といたしまして、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、基金の運用状況に関する調書、主要な施策の成果に関する報告書を併せて提出いたしております。

次に、認定第8号令和2年度中間市公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定について、提案理由を申し上げます。

まず、利益の処分につきまして、当年度未処分利益剰余金342万5,745円を全額

繰り越すものでございます。

次に、決算認定につきまして、収益的収入及び支出における総収益は12億6,756万1,551円でございます。これに対する総費用は12億6,413万5,806円で、当年度の純利益は342万5,745円となっております。

また、資本的収入及び支出における総収入は52億2,838万900円で、これに対する総支出は54億3,834万4,902円となり、差引き2億996万4,002円の不足が生じましたが、この不足額は当年度分損益勘定留保資金等で全額補填いたしております。

次に、令和2年度の排水処理状況及び水洗化状況についてご説明申し上げます。

令和2年度の処理区域内戸数は1万5,731戸となり、前年度より4戸減少し、下水道普及率は77.3%となりました。

水洗化状況につきましては、令和2年度の水洗化戸数が1万3,746戸となり、前年度より171戸増加し、水洗化率は87.4%となりました。

また、有収水量は266万2,024立方メートルで、前年度より8万288立方メートル増加いたしております。近年では人口減少や節水機能に優れた機器の普及等により、有収水量の大幅な伸びが期待できない状況でございます。

また、平成6年3月に本市が公共下水道事業に着手して25年以上が経過していることから、老朽化した施設の更新や本年9月に予定している地域下水道の公共下水道への接続に伴う工事等により費用の増大も見込まれます。

このように公共下水道事業を取り巻く環境は非常に厳しさを増すものと予想されますが、今後も下水道計画を検証しながら、可能な限り早期普及に努めると同時に、より一層の経営努力を重ね、事業運営をしていく所存でございます。

以上、地方公営企業法第30条第4項の規定によりまして、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものでございます。

また、同条第6項の規定により、事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書及び企業債明細書を議案に添えて提出いたしております。

次に、認定第9号令和2年度中間市水道事業会計利益の処分及び決算認定について、提案理由を申し上げます。

まず、利益の処分につきまして、当年度未処分利益剰余金4億1,211万5,280円のうち1億円を減債積立金へ積み立て、残余3億1,211万5,280円を繰り越すものでございます。

次に、決算認定につきまして、収益的収入及び支出における総収益は9億7,199万7,370円で、前年度と比較いたしますと2,737万2,481円の減額となっております。これに対する総費用は9億253万8,269円で、前年度と比較いたしますと2,740万7,927円の減額となり、当年度の純利益は6,945万9,101円となっ

ております。

また、資本的収入及び支出における総収入は2億1,859万3,314円で、これに対する総支出は7億1,609万3,255円となり、差引き4億9,749万9,941円の不足が生じましたが、この不足額は当年度分損益勘定留保資金等で全額補填いたしております。

次に、令和2年度の給水状況につきまして、給水戸数は2万9,008戸で前年度より54戸増加しておりますが、給水人口は5万9,941人で前年度より529人減少しております。また、有収水量は560万3立方メートルで、前年度より6万6,592立方メートル増加いたしております。

近年、給水人口の減少傾向が続いており、少子高齢化の進展と併せ生活様式が多様化する中、節水器具の普及により給水収益の増加は期待できない状況でございます。それに加え老朽化した施設の改良工事、管路等の耐震化も必要となっており、費用の増大も見込まれるため、水道事業を取り巻く経営環境は非常に厳しくなることが予想されますが、今後も良質な水質の維持、向上に向け、より一層、効率的経営の下、健全な事業運営を継続しつつ安心して安全な水道水の安定供給に努めてまいる所存でございます。

以上、地方公営企業法第30条第4項の規定によりまして、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものでございます。

また、同条第6項の規定により、事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書及び企業債明細書を議案に添えて提出いたしております。

次に、認定第10号令和2年度中間市病院事業会計決算認定について、提案理由を申し上げます。

初めに、決算の概要につきましてご説明いたします。

まず、収益的収支につきましては、経常収益16億5,773万9,327円に対し、経常費用は17億9,046万854円となり1億3,272万円の経常損失となりました。

また、総収益23億6,212万5,166円に対し、総費用17億9,596万5,698円となり、単年度収支において5億6,616万円の純利益となっております。これにより前年度繰越欠損金5億7,848万7,273円から当年度純利益を差し引き1,232万7,805円が当年度未処理欠損金となっております。

令和2年度に大幅黒字を計上した要因につきましては、病院事業会計を令和2年度限りで閉鎖することが決定したため、一時借入金の清算などが必要となりましたことから、一般会計から病院事業会計へ特別利益として7億円の繰入れを行ったことによるものでございます。

なお、仮に令和3年度以降も病院事業を継続した場合を想定いたしますと、7億円の繰入れが見込めないことに加え、令和3年度に備える賞与引当金など約6,000万円を引き当てる必要がありましたことから約2億円の赤字であったと考えられます。

次に、資本的収支につきましては、収入5,414万1,000円に対しまして、支出は9,664万7,706円となり、これによる差引不足額4,250万円につきましては、当年度分損益勘定留保資金等で補填し、なお、不足する額2,301万円は一般会計からの繰入金をもって措置いたしました。

また、患者数につきましては、入院延べ患者数は1万4,088人で1日平均39人となっており、外来延べ患者数は4万4,784人で1日平均167人となっております。

中間市立病院は廃院いたしました。今後の地域医療におきましては、福岡県などの関係行政機関や近隣医療機関等と連携し、中間市立病院が果たしてきた役割が途切れることがないように努めてまいり所存でございます。

以上、地方公営企業法第30条第4項の規定によりまして、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものでございます。

また、同条第6項の規定により、キャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書及び企業債明細書を議案に添えて提出いたしております。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております各会計決算認定10件に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますので、ご了承をお願いいたします。

日程第20. 第37号議案

日程第21. 第38号議案

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第20、第37号議案及び日程第21、第38号議案の令和3年度補正予算2件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

第37号議案令和3年度中間市一般会計補正予算（第5号）について、提案理由を申し上げます。

今回の補正予算は、本年度の当初予算を本年6月の市長選後に改めて事業の調整を行うことを前提とした骨格予算として編成しておりましたことから、これらの事業についても調整を行った上で追加計上し、本格予算とするものでございます。

歳出の主なものにつきましては、総務費におきまして、後ほど第49号議案でご提案いたします。公共施設の整備等を実施するための財源となる基金について、基金を新たに設置するための積立金に7億円、県補助金の金額確定に伴う返還金に120万円をそれぞれ計上いたしております。また、事業の財源調整に伴い、財政調整基金積立金を2億1,400万円減額いたしております。

民生費におきましては、介護保険料に関する令和2年度国庫負担金の精算交付に伴う介護保険事業特別会計への繰出金に110万円を計上いたしております。

衛生費におきましては、現在実施しております新型コロナウイルスワクチン接種事業を10月以降も継続して実施するために必要な経費として1,300万円、第51号議案でご提案いたします中間市立病院廃院による契約の中途解約に伴う解約損料に係る損害賠償として、補償補填及び賠償金に2,030万円をそれぞれ計上いたしております。

農林水産業費におきましては、老朽化した中底井野地区の農業用水路改良工事に1,920万円を計上いたしております。

土木費におきましては、老朽化した道路を改良し長寿命化するための工事に1,340万円を計上いたしております。

消防費におきましては、緊急地震速報等を受信し、一斉送信するためのJアラート自動起動装置の更新業務に240万円を計上いたしております。

教育費におきましては、現在、債務負担行為により実施しております小学校4校及び中学校4校の給食調理等業務委託につきまして、令和4年度以降の3年間に係る業務委託契約を締結するため、限度額を3億430万円とする債務負担行為を設定しております。

次に、歳入につきましては、地方特例交付金におきまして、交付額の確定に伴い460万円を減額しております。

地方交付税におきましては、普通交付税額が決定し、市町村民税法人税割を中心とした基準財政収入額の減額により決定額が予算額を上回ったことから2億9,420万円を増額しております。

国庫支出金におきましては、低所得者第1号被保険者介護保険料国庫負担金100万円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金1,300万円をそれぞれ計上しております。

県支出金におきましては、低所得者第1号被保険者介護保険料県負担金10万円、農村整備総合事業費補助金770万円を追加計上しております。

繰入金におきましては、財源調整として、財政調整基金繰入金3億8,740万円を計上しております。

市債におきましては、道路改良長寿命化事業に1,240万円、農業環境整備事業に1,200万円を追加計上し、発行可能額の確定に伴い臨時財政対策債1億670万円を減額いたしております。

以上により、歳入歳出それぞれ6億3,346万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ202億9,414万円とするものでございます。

次に、第38号議案令和3年度中間市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について、提案理由を申し上げます。

まず、保険事業勘定の歳出といたしましては、令和2年度事業における介護給付費の確

定に伴う償還金といたしまして、国庫負担金返還金650万円、県負担金返還金1,320万円、支払基金負担金返還金720万円、また地域支援事業費の確定に伴う償還金といたしまして支払基金返還金20万円を増額いたしております。

次に、保険事業勘定の歳入といたしましては、令和2年度事業における地域支援事業費の確定に伴う国庫補助金を250万円、県補助金を120万円、介護保険料低所得者軽減措置における一般会計繰入金を110万円、歳出補正に伴う財源調整といたしまして、前年度繰越金を2,240万円追加いたしております。

以上により、歳入歳出それぞれ2,734万6,000円を追加し、介護サービス事業勘定を加えた予算総額を歳入歳出それぞれ52億1,498万7,000円とするものでございます。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております令和3年度補正予算2件に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますので、ご了承をお願いいたします。

日程第22、第39号議案

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第22、第39号議案中間市手数料条例の一部を改正する条例を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

第39号議案中間市手数料条例の一部を改正する条例について、提案理由を申し上げます。

今回の条例改正は、本市のホームページで本年度から公開されております中間市行政情報マップに都市計画法の規定による用途地域等の情報を掲載する予定としており、インターネット上でこれらの情報を取得できるようになることから、これまで無償で交付しておりました都市計画に関する証明書を有償化するものでございます。

条例改正の内容といたしましては、手数料を徴収する事務として、都市計画証明書の交付に関する事務を追加し、手数料の額等を定めるものでございます。

なお、条例の施行日につきましては、有償化の周知期間を踏まえまして、令和3年12月1日といたしております。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております第39号議案に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますので、ご了承をお願いいたします。

日程第23. 第40号議案

日程第24. 第41号議案

日程第25. 第42号議案

日程第26. 第43号議案

日程第27. 第44号議案

日程第28. 第45号議案

日程第29. 第46号議案

日程第30. 第47号議案

日程第31. 第48号議案

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第23、第40号議案から日程第31、第48号議案までの条例廃止9件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

第40号議案から第48号議案までにつきましては、関連がございますので、各条例別に一括して提案理由を申し上げます。

このたび廃止のご提案をいたしております各基金につきましては、昭和48年から平成15年までの間に設置され、いずれも長期間が経過していることもございまして、当初の設置目的が薄れるとともに、基金残高も僅少となったものが多いのが現状であり、基金として運用管理する意義が失われております。

また、施設整備の財源とすることを目的とした基金につきましては、第49号議案でご提案いたします中間市公共施設整備等基金を設置することにより、本市の公共施設の計画的な管理に必要な資金について、一体的な運用管理が可能となるものと考えております。

各基金を活用し実施してきた事業自体の重要性は十分認識しておりますが、今後ますます重要となる公共施設の適正管理という行政課題に対応するため、これらの基金を廃止するものでございます。

それでは、各条例につきましてご説明申し上げます。

まず、中間市地域振興整備基金条例を廃止する条例につきましては、地域振興を図るための事業に必要な財源の確保を目的とする地域振興整備基金につきまして、残高も僅少であり、基金として運用管理する意義が失われたことから、これを廃止するものでございます。

次に、子孫にのこすふるさとづくり基金条例を廃止する条例につきましては、本市の発展と住みたくなるまちづくり事業の財源に充当することを目的とする子孫にのこすふるさとづくり基金につきまして、残高も僅少であり、基金として運用管理する意義が失われた

ことから、これを廃止するものでございます。

次に、中間市福祉対策積立基金条例を廃止する条例につきましては、福祉事業の財源に充当することを目的とする中間市福祉対策積立基金につきまして、基金として運用管理する意義が失われたことから、廃止するものでございます。

次に、中間市ふるさと水と土保全基金条例を廃止する条例につきましては、土地改良施設の機能を適正に発揮させるための集落共同活動の強化に対する支援事業の財源とすることを目的とする中間市ふるさと水と土保全基金につきまして、残高も僅少であり基金として運用管理する意義が失われたことから、これを廃止するものでございます。

次に、中間市住宅基金条例を廃止する条例につきましては、市営住宅または共同施設の建設等に要する費用に充てることを目的とする中間市住宅基金につきまして、新たな基金の設置により、一体的な資金の運用管理が可能となることから、これを廃止するものでございます。

次に、中間市都市計画事業等積立基金条例を廃止する条例につきましては、法に基づいて行う都市計画事業及び土地区画整理事業に要する経費に充てることを目的とする都市計画事業等積立基金につきまして、新たな基金の設置により、一体的な資金の運用管理が可能となることから、これを廃止するものでございます。

次に、中間市消防施設整備積立基金条例を廃止する条例につきましては、消防体制の近代化と消防力の充実強化を図り、その整備に要する費用に充当することを目的とする消防施設整備積立基金につきまして、新たな基金の設置により、一体的な資金の運用管理が可能となることから、これを廃止するものでございます。

次に、中間市まなびの森基金条例を廃止する条例につきましては、生涯学習の振興を目的とした施設の充実整備に要する費用に充当することを目的とするまなびの森基金につきまして、新たな基金の設置により、一体的な資金の運用管理が可能となることから、これを廃止するものでございます。

最後に、中間市基金の運用の特例に関する条例を廃止する条例につきましては、より柔軟な資金運用を可能とするため、対象の基金から一般会計に繰り入れて運用することができるよう、基金の運用の特例を定める条例につきまして、その対象となる10の基金のうち8の基金を廃止するご提案をいたしましたことに伴い、その制定趣旨が失われることから、これを廃止するものでございます。

なお、条例の施行日につきましては、全て令和4年4月1日といたしております。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております条例廃止9件に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますので、ご了承をお願いいたします。

日程第32. 第49号議案

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第32、第49号議案中間市公共施設整備等基金条例を議題といたします。
提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

第49号議案中間市公共施設整備等基金条例について、提案理由を申し上げます。

この条例は、公用または公共の用に供する施設である公共施設の整備等に要する経費の財源に充てることを目的として資金を積み立て、運用するための基金を設置するものでございます。

本市の公共施設は、その多くが高度経済成長期に建設されており、建物の老朽化が進み、大規模改修や修繕、建替えが必要となってきております。

他方で、人口はかつての5万人から4万人まで減少しており、今後も人口減少と少子高齢化が進行することによる税収等の収入の減少及び社会保障等に要する経費の増加が予測されます。また、社会情勢の大きな変化に伴って、高度化・多様化する公共施設に対するニーズに適切に対応していくことが重要となります。

これらの状況を踏まえ、今後は中間市公共施設等総合管理計画でも方針として掲げているとおり、公共施設の適正配置と施設総量の縮減を図ること及び計画的な予防保全等の実施により、施設の長寿命化を図ることが重要な行政課題となります。

本市では、この方針に沿って施設管理を実施してまいりますが、そのためには年平均で3億円以上の経費が必要と見込んでおります。実施に当たっては、国県補助金や財政措置の有利な起債の活用等により財源確保に努めてまいりますが、市の財政負担も膨大となることから、本基金により財源を確保するとともに、年度間における財政負担を平準化することが可能になるものと考えております。

条例の主な内容といたしましては、地方自治法第241条第1項及び第8項の規定に基づき、中間市公共施設整備等基金を設置し、その管理及び処分に必要な事項を定めるものでございます。

なお、条例の施行日につきましては、公布の日といたしております。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております第49号議案に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますので、ご了承をお願いいたします。

日程第33. 第50号議案

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第33、第50号議案中鶴公営住宅（1期）新築工事（建築工事）請負契約

についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

第50号議案中鶴公営住宅（1期）新築工事（建築工事）請負契約について、提案理由を申し上げます。

現在、本市では福岡県と連携を図り、国庫補助事業であります地域居住機能再生推進事業を活用し、中鶴地区建替事業を進めております。

本事業は、現入居者の仮移転の負担軽減や円滑な建替え、更新住宅（1期及び2期）と公営住宅の集約による各コストの軽減などの観点から、建設計画及び今後の維持管理計画等を考慮した結果、例外的に一部非現地建替えとして事業を進め、本年3月末までに更新住宅（1期及び2期）が竣工いたしております。

それでは、今回計画しております中鶴公営住宅の概要について、ご説明申し上げます。

まず、建築場所につきましては、中鶴更新住宅（2期）の北側で敷地面積は約4,149平方メートルとなっております。

次に、建物につきましては、建築面積約744平方メートル、延床面積約2,977平方メートルの鉄筋コンクリート造5階建ての建物で整備戸数は50戸、現在、中鶴公営住宅に居住している世帯が入居する予定となっております。

なお、中鶴公営住宅（1期）新築工事につきましては、本件建築工事及び機械設備工事を本年度に、外構工事を来年度に発注することとしております。

本件工事に係る請負契約につきましては、先月5日に予定価格を8億8,689万5,900円とし、条件付一般競争入札を実施しましたところ、「サンコー・山藤特定建設工事共同企業体」が7億9,820万6,310円で落札いたしましたことから、同日付で同者と仮契約を締結いたしております。

この契約の締結に当たり、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、1件の予定価格が1億5,000万円以上である工事の請負契約を締結する場合におきましては、議会の議決が必要とされておりますことから、議決を求めるものでございます。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております第50号議案に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますので、ご了承をお願いいたします。

日程第34．第51号議案

○議長（中野 勝寛君）

次に、日程第34、第51号議案損害賠償の額を定め、和解することについてを議題と

いたします。

提案理由の説明を求めます。福田市長。

○市長（福田 浩君）

第51号議案損害賠償の額を定め、和解することについて、提案理由を申し上げます。

中間市立病院において、平成30年12月26日付けで令和8年3月31日までの7年3か月間を契約期間とするテレビ付床頭台システム設置契約を株式会社メディウムジャパンと締結しておりましたが、本年3月31日付けの中間市立病院の廃院に伴い、5年間のリース期間を残し、契約を中途解約いたしましたことから、解約損料に係る損害が同社に発生したものでございます。

本件に係る損害を賠償するに当たりましては、本市の顧問弁護士と協議を重ね、損害賠償の額を2,034万8,040円とし、和解することにつきまして、相手方と協議が整いましたことから、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（中野 勝寛君）

ただいま議題となっております第51号議案に対する質疑は、9月2日の本会議で行いますので、ご了承をお願いいたします。

日程第35. 会議録署名議員の指名

○議長（中野 勝寛君）

これより日程第35、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、議長において小林信一君及び中尾淳子さんを指名いたします。

○議長（中野 勝寛君）

以上で、本日の日程は全て終了いたしましたので、本日はこれにて散会いたします。

午前11時11分散会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する

議 長 中 野 勝 寛

議 員 小 林 信 一

議 員 中 尾 淳 子

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する

議 長

議 員

議 員